

## フィリピンリエゾンオフィス開所式及び大学交流デーを開催

本学は3月6日（火）にフィリピンのケソン市にあるフィリピン大学ディリマン校（UPD）内にフィリピンリエゾンオフィスを開設し、開所式及び大学交流デーを開催しました。本学とフィリピン大学とは2014年7月に大学間交流協定を締結しています。本学からは、網塚 浩理学院長、川野辺創国際連携機構副機構長他、21名の教職員が参加しました。

6日午前中から始まった開所式では、フィリピン大学のGil S. Jacinto副学長補佐、UPDのMichael L. Tan学長の挨拶の後、網塚理学院長から挨拶が

ありました。続いて、在フィリピン日本大使館の桑原 敦総領事兼総務公使から祝辞をいただきました。その後、双方の大学の国際部署から、各大学の国際戦略の取組が紹介され、本学からは川野辺国際連携機構副機構長が発表し、フィリピンリエゾンオフィスを代表して高橋幸弘理学研究院教授がオフィスについて紹介しました。また、本学のアンバサダーで元科学技術副大臣のDr. Amelia P. Guevaraと、本学パートナーで、UPDの学術担当副学長のDr. Evangeline C. Amorから祝辞をいただきました。

午後からは、北海道大学交流デーが開催され、理学、地球環境、情報科学、工学の分野にわかれて、双方の大学の教員が交流し、それぞれの研究紹介や共同研究の可能性があるテーマを中心に発表が行われました。

フィリピンリエゾンオフィスでは、今回の開所式及び大学交流デーの成果をもとに、本学の広報や研究交流の拠点として、本学とフィリピンのさらなる交流の活性化を推進していきます。

（国際部国際連携課、  
理学院・理学研究院・理学部）



フィリピン大学ディリマン校



キャンパスツアーの様子



網塚理学院長挨拶